

令和2年度 第2回豊明市子ども・子育て会議 議事録

令和3年3月25日(木)

午前1時30分から

豊明市保健センター 3階講義室

○出席委員

鈴木会長、山田委員、漢人委員、糸魚川委員、原委員、神谷委員、長谷川委員、岡元委員、近藤委員、石田委員、山崎委員、鈴木委員、外山委員

○議事録

事務局

定刻になりました。本日はご出席いただきありがとうございます。ただ今から令和2年度第2回豊明市子ども・子育て会議を行います。本日は委員14名のうち、13名の方のご出席をいただいております。過半数の出席がございますので、本日の会議は成立いたします。

はじめに、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

健康福祉部長

本日は年度末のお忙しい中ご参集いただき誠にありがとうございます。

日ごろは本市の子どもたちの教育・保育、子育て支援行政にご理解とご協力を賜り、感謝を申し上げます。ご案内のとおり、豊明市では唐竹小学校の閉校記念式典が行われ、新聞に大きく取り上げられました。45年の歴史がありましたが、4月からは新しく二村台小学校として出発します。

また、昨日令和3年度の当初予算が市議会で可決されました。令和3年度は多くの将来に向けた施策が準備されております。令和4年度には唐竹小学校の跡地に多世代交流施設が整備されます。他にも多くの分野で、長い目で将来を見据えた様々な再編・整備を令和3年度に進めていきます。本日ご提案・ご報告をさせていただき、また、ご議論いただく分野は子育て支援分野における将来への在り方に繋がる課題でもあると言えるものと存じます。多角的かつ活発なご議論を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局

議題に入る前に、委員の委嘱についてご説明をさせていただきます。前の委員の任期が終了しましたので、継続の委員様、新たな委員様にご出席いただいております。

今回の委員の任期は、令和2年9月1日より令和4年8月31日までの2年となっております。お一人ずつ委嘱状をお渡しするのが本来ではありますが、机の上に委嘱状を準備させていただいております。

子ども・子育て会議は、第2期子ども・子育て支援事業計画を推進するため委員の皆様のご意見の反映、および地域の現状を踏まえたご審議をいただく場となっておりますので、よろしくお願いいたします。

新しく会議にご出席いただきます委員の方がいらっしゃるの、所属とお名前等自己紹介をお願いいたします。

～自己紹介～

続きまして、議事に入る前に、この会議は「公開等に関する取扱い要領」に基づき公開となっております。本日の傍聴人はおりません。

資料の確認をお願いいたします。

- ・ 豊明市子ども・子育て会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 資料1、資料2、資料3

以上の中で不足している方はお知らせください。

これから議事に入ります。ここからは、鈴木会長に進行をお願いいたします。鈴木会長よろしくお願いいたします。

会長

次第に沿って進めてまいります。議題の(1)「児童発達支援センターについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料1「児童発達支援センター整備について」に基づき説明)

- ・ 令和4年4月、唐竹小学校跡地の多世代交流館1階に児童発達支援センターを開設し、児童発達支援事業、障害児相談支援事業、保育所等訪問支援事業を実施して地域の発達支援における中核的な役割を果たす施設です。
- ・ プロポーザルによる審査の結果、「社会福祉法人豊明福祉会」を優先交渉事業者として決定しました。

会長

ご質問等ございましたらお願いいたします。

委員

社会福祉法人豊明福祉会が担当されるということで、運営事業の内容、開所の日時や保護者の方への伝え方等が決まりましたら、広く PR できればと思いますので、また詳細が決まりましたらお教えてください。

会長

これから1年かけてまずハード面を整備しつつ、ソフト面も実際にどのような形でスタートしていくかは随時広報していただけると、色々な不安を持たれている親御さんにとって安心かと思しますので、よろしくをお願いします。豊明福祉会に委託されるということですが、随時市と上手く連携を組んでやっていただきたいと思います。

事務局

今現在事業の内容を検討しており、これから詳細を詰めていきます。今までのおやこ通園のどんぐり学園の良いところもたくさんありますし、市内には障がい児に関わる事業所がたくさんありますので、深く長く連携しながら進めていきたい。また、早期に発見しながらも保護者の方にどのように寄り添っていくかという相談業務も重要だと考えています。

未就学児は幼稚園・保育園へどう繋ぐか、また、小学校へどう繋ぐかという切れ目の無い支援を考えておりますので、今後協議を進めてお示ししたいと考えております。

会長

良い状態でスタートできるよう、ご準備をよろしくお願いいたします。

次の議題に進みます。議題（2）「南部地区における保育需要に対しての整備について」説明をお願いします。

事務局

（資料2「南部地区の保育施設整備について」に基づき説明）

（説明要旨）

- ・ 整備方針を決めるにあたり、サウンディング型の市場調査を実施し、民間事業者からの提案意見を踏まえ、南部地区の待機児童対策への方策の検討を行います。
- ・ 現状では希望する園に必ずしも入所できていない。南部地区では申込者数が利用定員数を上回っている。南部地区において、3歳未満児の保育需要に対し、量の確保が図

れていない。

会長

サウンディング型の市場調査を受けて市の方針を決定するということですが、いかがでしょうか。

委員

南部地区がこのような状況であることは理解しましたし、そのために内山保育園を民営化するというお話があったかと思います。逆に第2期の計画の中で、市として2、3年の中で一つの目安となる基準になるものが何もないとそれに対する意見が言いにくいので、サウンディング型市場調査だけでなく、市としてはこういう目標があるというようなロードマップや目安があると、客観的な目線でお話できるので良いかと思います。

事務局

第2期につきましては、この中にも策定段階から関わっていただいた委員の方もいらっしゃいますが、その時点では豊明市の保育需要がそこまで大きくなるという想定は基本的にはしていませんでした。というのも、大前提として子供の数が全国的に増えないということを加味し、一方では女性の就業率が増加していますので、この部分がぶれていると考えているのが市としての見解と捉えていただければと思います。ただしこれがずっと続く訳ではないと見ております。

ある程度施設が整備されないと、保育需要も喚起されないと考えられております。作れば作っただけ需要が喚起されるということも一般的には考えられています。今年の4月は申込者数が多く、特に南部地区、栄中学校区で顕著であったという状況です。

平成30年には豊明市の保育所整備方針を打ち出させていただきました。その時には公立保育園が10園ありまして、どの施設も老朽化しているのが課題でした。保育施設を10園から7園にするというのが平成30年の整備方針でした。一つ考慮していただきたいのは、施設の老朽化に伴い今後ずっと公立保育園として維持し続けられないという課題です。また、平成30年の整備方針では、南部地区の内山保育園を早くて令和6年4月に民営化することを検討することが決まっておりました。

会長

南部の内山保育園が対象であるということですが、民営化することが前提なのでしょうか。

事務局

公立保育園の総量を減らしていくのが大きな流れとしてはあります。平成30年に内山保育園を選定した理由は、比較的定員数が少なく影響が少ない保育園という話だったので、待機児童が増えていくと、拡充も含めて検討すべきというご意見もあろうかと思えます。内山保育園ありきで進めるのではなく、一旦立ち止まって色々な意見を民間からも聞きながら取り入れていきたいという趣旨です。

委員

そういった目線で今までやってきたというのは良いのですが、今後のことを考えると、内山保育園の拡大を図る場合、施設の整備が必要か、誰がやるかという話になるかと思えます。市がある程度の枠をやるという場合には、財政的なことは別として、これも一つの方策だと思います。民間がやる場合にはこの施設をどうするかというのは要相談だと思います。

考え方の一つとして、南部地区にどれだけの空き家があるかはわかりませんが、空き家を利用して施設の整備が非常に安価でできるとか、例えば南部の舘小学校などに空き教室がある、といった情報提供をいただくと、もう少し違った意見も出てくるかと思えます。

事務局

まさにそういったご意見を、サウンディングという形でアイデアとして与えていただきたいという思いもあります。前提条件としては先ほど述べたとおりですが、それを解決する有効な方策として民間のノウハウを活用させていただくということを想定しています。

事務局

今ご提案いただいたように、例えば空き家を活用するというのであれば、やれるとしたら改修費が足りない場合に市が考えてくれるか等のご提案をいただき、様々な案をいただいた中から、市として需要や予算を検討しながら方針を決めさせていただきたいと考えています。行政だけでは職員だけの考えになりますので、お力を借りて、発想豊かな色々なアイデアを出していただくことで異なった考え方ができるのではないかと考え、今回サウンディング型市場調査を実施したいと考えました。

会長

当初は内山保育園の今の状態のままを民営化させて欲しいというご提案だったかと思えますが、今回は一旦白紙にして、自由にアイデアを出してくださいということでしょうか。

事務局

実現可能な範囲で、公設民営ではなく自分達で作りたいということも含めて、新たな視点でご意見をいただきたいということです。

会長

内山保育園の在り方を中核として、市としてその問題をどう解決していくかを柔軟な発想で考えてください、ということですね。事業者からの意見提案ということですので、広く市民の方に募集するというわけではないのですね。

事務局

市民ではなく、今後施設を経営させるなどの事業者様になります。

会長

事業者にはどのように広報されるのでしょうか。

事務局

事業者はある程度実現可能なご提案をいただくことを想定しておりまして、ホームページや広報とよあけ等で周知するとともに、既存の事業者の方、市内の幼稚園・保育所、子育て関連施設等に情報としてお伝えしながら進めていく予定です。ホームページをご覧になってご提案される市外の事業者の方もいらっしゃるかもしれません。

会長

市内の方に限定するわけではないのですね。

事務局

はい。

会長

提案された方に事業をお願いするということですか。

事務局

事業提案者と運営事業者は必ずしもイコールではありませんので、事業提案者として提案された内容がその事業者でないとできないという場合もありますし、別の事業者でも可

能な場合には、改めてどの事業者にやっていくかという業者選定も二段階で実施することも想定しています。

会長

サウンディング調査の時点で多少の選定はあるのでしょうか。

事務局

サウンディングでは自由にご意見をいただきたいと思いますのですが、そのような事業提案をするにも経費がかかりますので、関心が無い事業者が提案されることはないのではないものと認識しています。

会長

ある程度はフォーマルな企画書のような物を提出させるということでしょうか。

事務局

どのような物を出していただくかといった詳細は現時点では未定です。

会長

ここで決議いただきたいことは、サウンディング型市場調査を実施することをお認めいただけるかということですね。

委員

平成30年度に内山保育園民営化の計画を立てたというのはどういった理由ですか。

委員

ホームページに記載しておりますとおり、対象園選定時には次の3つの要素に主眼を置いて選定しています。「多くの利用者の移動手段である自家用車での移動に関して、渋滞する国道1号線がネックとなることから、国道1号線の南北のエリアに配慮した選定」、「老朽化が著しい等、施設の建替えの検討が必要な園について」、「規模が大きい、または主要な役割を持つ園は、引継ぎ等において、多数の子どもへの影響も懸念されることから、優先しない」で、この3つから考えたところ、1例目が東部保育園が民営化しており、2例目が沓掛保育園、3例目が内山保育園となっています。内山保育園は定員が少なく、南部地域にあり、規模が小さいことから民営化による影響が比較的少ないと考えられること、民間を活用する上で一時保育、定員拡大などの提案を求めやすい施設であること、市によ

る営繕により施設が比較的良好な状態に維持されていることから、公設民営での民営化を決定しました。定員割れしていたわけではなく、定員は満たしていました。

事務局

平成30年の整備方針の資料に記載の定員は、内山保育園で60名、南側にある栄中学校区にある他の保育園では栄保育園で173名、南部保育園で88名、舘保育園で142名定員となっていました。

委員

民家も少なく住宅地からは少し離れていますよね。

事務局

市街化調整区域にはなるのですが、昔の集落を後ろに抱えているような区域になります。栄保育園は栄小学校のすぐ近く、舘保育園は舘小学校の更に奥の住宅街に位置しています。南部保育園は名鉄前後駅の東側にあります。

委員

民営化するメリットとしては、施設が老朽化しているからという理解でよろしいでしょうか。

事務局

まず、市全体の施設整備が大きなところとしてありまして、全国的な流れとして、公共施設全てを公立で抱えておくのではなく、経費もかかることから、民間でできるところは民間でやっていただき、施設の総量を少なくしておく、ということがあります。豊明市の場合は保育園が公立というイメージがあるように、公立保育園がたくさんあります。サービスを引き続き提供するためには、老朽化に対していずれは建て替えが必要ですが、10園全てを建て替えるかという議論になりますと、税金の使われ方としてより相応しいものとして、平成30年に3園減らすということに方針を立てさせていただきました。今回内山保育園の議論に入る段階で、既定路線の内山保育園の施設をそのままにして民間に入っただけという考え方以外の方策もあり得るので、方針を少し変えさせていただきたく、お諮りした次第です。

委員

先ほど空き家の活用についてご提案しましたが、豊幼研のメンバーの中からは、他の市町村のように公園の一部に施設を作るなど、色々な場所に設置できる所があればその紹介も一つだろうといった意見がありました。また、人口が減少しているので、今後就労される方の人数の問題はありますが、民間が施設を建てた場合、どんどん子どもが減って10年後に運営ができなくなるということも考えられるので、例えば10年間といった期限を設けた考え方ができるかどうかということも検討いただければと思います。

会長

民間でも公営でも、公共性の高い事業ですので、ある日突然閉鎖するということでは困りますし、難しい問題かと思えます。サウンディングでは公設民営ありきではなく内山保育園に限らない他の策についてもご提案いただく、ということですよ。

事務局

他の方策も含めて、実現可能な部分でご提案をいただければと思います。民間の幼児教育や保育に対するニーズは多様化しているので、公立だけではサービスとして十分でない部分も現状として担っていただけているので、その部分はそのまま大事にできればと思っています。

会長

サウンディング型の市場調査をやらせていただいて、元々あった内山保育園の民営化に拘らない意見を含めて広く伺い、市として柔軟なご意見をいただくという方向でよろしいですね。

事務局

はい。

会長

内山保育園の閉園はいつ頃の予定でしょうか。

事務局

保護者の方の関心事でもあるかと思えます。早くても令和6年4月とアナウンスしておりますので、それより前倒しでサービスが受けられなくなることはあってはならないことだと認識しております。現在入園されている方にはご迷惑をお掛けすることのないようにします。ただし待機児童の発生もありますので、速やかに行うということも視野には入れ

ています。

会長

5月から調査をされるということですので、今後何かご要望等ありましたら、課長に直接ご要望いただくということによろしいでしょうか。

事務局

よろしく申し上げます。

会長

議題2のサウンディング型市場調査の実施についてはお認めいただきました。

では、次の議題に進みます。

議題（3）「子育て支援センターについて」説明をお願いします。

事務局

（説明要旨）

- ・ 子育て支援センターの基幹であるすまいるについては、令和4年度の4月から児童発達支援センターと同時期に唐竹小学校跡地の多世代交流館に移転する。
- ・ 昨年第1回目子ども・子育て会議で南部地区でも子育て支援センターの拠点が引き続き必要だという意見が出されたことを受け、内山保育園内で、令和5年度までは現在青い鳥で実施しているような小規模の支援センターを運営する。
- ・ サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、南部地区の支援センターの在り方についてもあわせて検討する。

会長

これで本日の議事は全て終了となりますが、その他、事務局からの連絡等がありますか。

事務局

保育課から報告がございます。資料3をご覧ください。

（説明要旨）

- ・ 令和3年4月1日より「保育課」から「子ども保育課」に名称変更する。
- ・ 令和2年度における定員増加を伴うむつみ保育園の園舎大規模修繕事業により、利用定員が増加した。

- ・ 国の動きとして、令和3年度から『多様な集団活動事業の利用者支援』制度が『多様な事業者の参入促進・能力活用事業』として開始する。

課長

本会議は、公開等に関する取扱い要領に基づき、議事録等につきましては、ホームページ等に掲載させていただきます。また、サウンディング型市場調査の結果を受けたのち、市の考え方等をお示しするため、令和3年度第1回の豊明市子ども・子育て会議は7～8月頃を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

会長

これをもちまして令和2年度第2回豊明市子ども・子育て会議を終了いたします。

事務局

ありがとうございました。